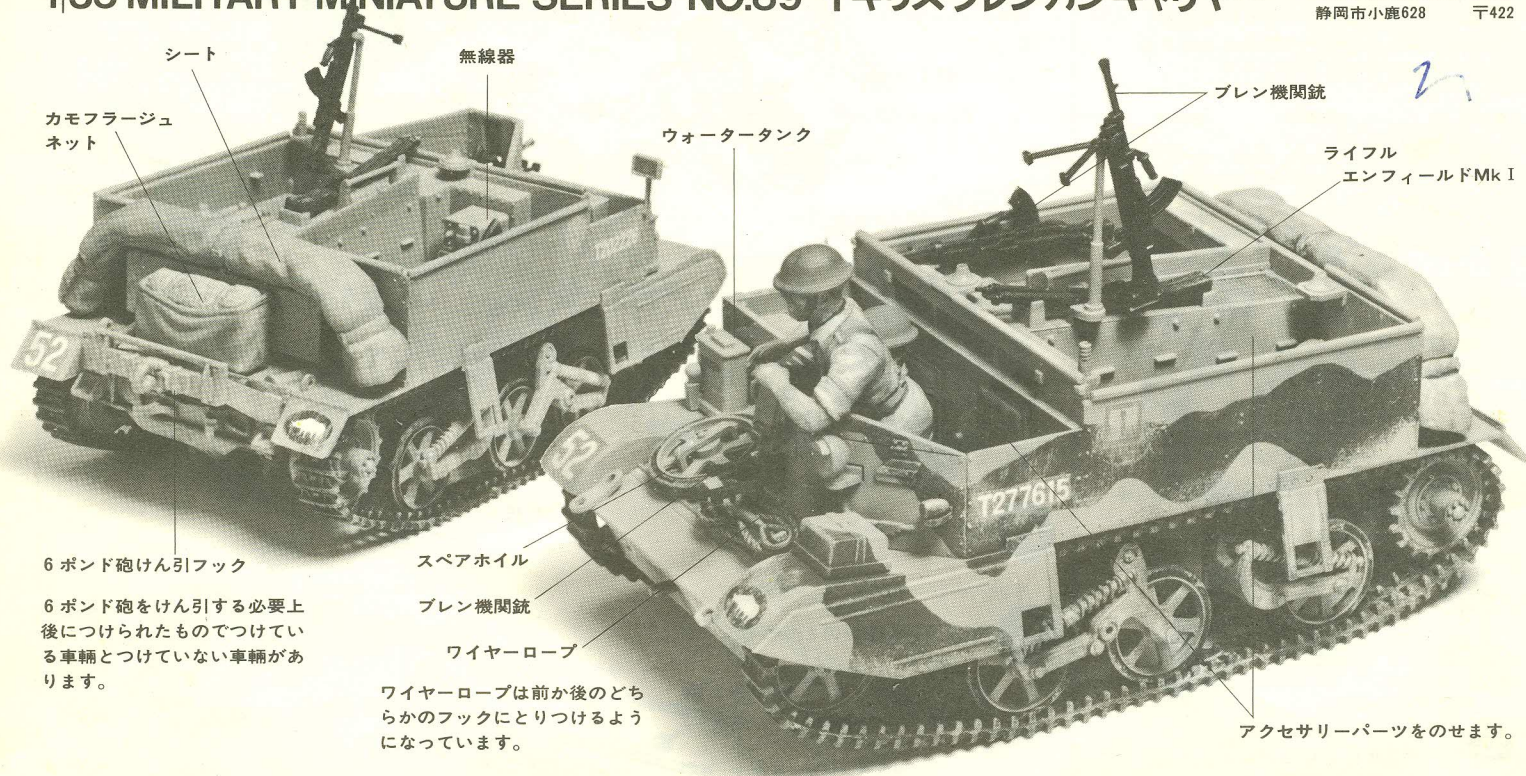


# BRITISH UNIVERSAL CARRIER Mk II

1/35 MILITARY MINIATURE SERIES NO.89 イギリス・ブレンガンキャリヤー

TAMIYA  
静岡市小鹿628 千422



第2次大戦のイギリスおよびイギリス連邦軍は、各種のキャリヤー（運搬車）と呼ばれる軽キャタピラー車を多用途かつ大量に使用しました。これらのキャリヤーは、一般にひとまとめにしてブレンガン・キャリヤーと呼ばれていますが、これはブレン機関銃を搭載して歩兵支援用に開発されたブレンガン・キャリヤーの名が、そのままこの一連のキャリヤーのニックネームとなってしまったもので、実際に最も大量に生産され、多方面に使われて代表的な存在となったのが、多用途運搬車ユニバーサル・キャリヤーでした。

1925年～26年にかけて、イギリス陸軍の大佐マーテルは、彼がいただいた機械化歩兵の構想を実現させるために自身の手で1人乗りのタンケッティ（豆戦車）のプロトタイプを製作しました。また同じ頃、カーデン・ロイド・トラクター会社によっても同様の豆戦車が作られ、1927年、それぞれの改良型が8台ずつイギリス陸軍に試験的に採用され、偵察任務などに使われることになったのです。しかしマーテル豆戦車はやがて開発に行き詰まることになりました。一方、カーデン・ロイド豆戦車は、二人乗り型など次々と改良が進められ、やがて機関銃歩兵中隊などのための機関銃運搬車としての優秀性が認められるようになり、1928年、第2次大戦前のすぐれたマシンガン・キャリヤーとして知られたカーデン・ロイドMk VIが生み出されるのです。この時期、カーデン・ロイド社は、ピッカース・アームストロング社に吸収されてしまったのですが、1930年までに最初の270輛がイギリス陸軍に納入されました。重量約1.5トン、全長

約2.5m、幅約1.8mとちょうど小型乗用車ぐらいの大きさで、車体は厚さ9mmから5mmの装甲板によるオープントップ型が標準。ピッカース7.62mm水冷機関銃を前部に備え、乗員は2名。フォード4気筒40馬力のエンジンを装備、約40km/hの最高速度を持っていました。この頃は各国で陸軍の機械化に対する関心が高まってきた時期でもあり、日本、ソビエト、ベルギー、カナダ、チェコなど、カーデン・ロイドMk VIを研究用に購入した国も少なくなく、さらにベルギー、イタリアなどでライセンス生産され、世界にその真価を広めたのです。このマシンガン・キャリヤー、カーデン・ロイドMk VIが、後のユニバーサル・キャリヤーを生み出すベースとなるのです。

1934年、ピッカース・アームストロング社はカーデン・ロイドMk VIに続くキャリヤーとしてマシンガン・キャリヤーNo.1 Mk Iを開発、続いて機関銃に装甲防楯が備えつけられた改良型No.2 Mk Iが生産されました。そしてブレン機関銃がイギリス陸軍に導入されるようになると武装をブレン機関銃としてブレンガン・キャリヤーとなり、エンジンもより高出力のフォードV8に換えられ、さらに偵察用のスカウト・キャリヤー、騎兵用のキャバルリ・キャリヤーも生産され、1939～40年のフランス戦、また初期の北アフリカ戦で活躍することになります。

1939年、これら各種のキャリヤーを標準化した総合型として、ユニバーサル・キャリヤー（多用途運搬車）が開発されることになりました。基本的にはよく似た車体構造のオープントップ型。装甲

は7mm～10mm、重量約4.5トン、乗員3～6名。ブレン機関銃1～2基、またはボーイズ対戦車ライフルを持ち、エンジンはさらに出力の高いフォードV8・85馬力を装備、最高速度は約50km/hとなり、車体は全長が延長されて積載量も増加されました。このユニバーサル・キャリヤーはNo.1 Mk IIと呼ばれ、さらに一部のブレンガン・キャリヤー、スカウトキャリヤーもユニバーサル・キャリヤーに改装され、No.1 Mk Iと呼ばれたのです。またA.O.P.キャリヤー（装甲観測車）ピッカース機関銃を装備したM.M.G.キャリヤー迫撃砲搭載型のモーター・キャリヤーなどのバリエーションも開発されました。

ユニバーサル・キャリヤーシリーズは、イギリス本国だけでも35,000台以上が生産されました。さらにカナダ、オーストラリア、ニュージーランドなどでも生産され、兵員や物資の輸送、連絡や偵察、歩兵支援、そして6ポンド砲の牽引など、大戦の終りまでありとあらゆる方面に活躍したのです。また長年におわたる開発・改良の結果、信頼性、使いやすさなどの面でも非常にすぐれたものとなり、まさに大戦中のイギリス車輛の傑作中の傑作に数えることができるでしょう。

#### 主要データ

重量約4.5トン、全長約3.66m、全幅約2.06m  
乗員：3～6名（用途による）  
武装：ブレン機関銃またはボーイズ対戦車ライフル  
エンジン：フォードV8水冷、85馬力、  
最高速度：約50km/h



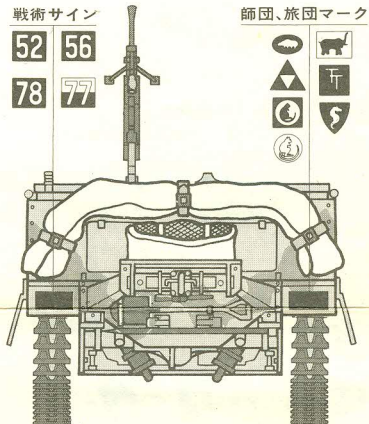
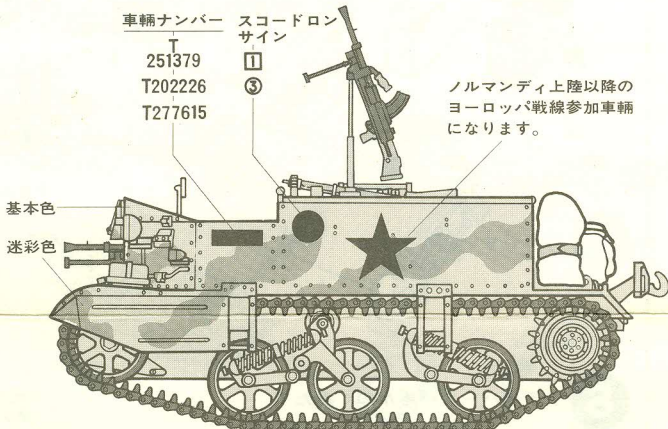
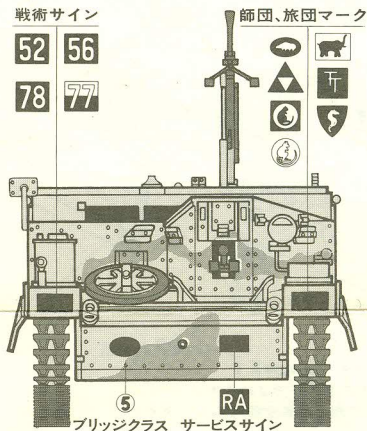
# PAINTING & APPLYING DECALS

## 《英国軍用車輛の塗装について》

英国本国軍、ヨーロッパ戦線でのイギリス軍用車輛は一般にダークグリーン、アフリカ戦線ではダークイエローが基本色として使用されました。こ

の他にイギリス軍独特の迷彩方法としてそれぞれの色の面積が広い塗り分けのはっきりした迷彩をほどこした車輛も見られます。これらの迷彩は、その基本色の上に、ダークイエローやダークグリー

ン、フラットブラック等で迷彩され、ぼかし塗装やはん点迷彩のような模様はほとんど見られないようです。下の迷彩図を参考に迷彩を楽しんで下さい。

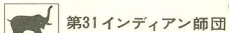


## 《マークの説明》

北アフリカ (1943年～)



第1機甲師団



第31インディアン師団

ヨーロッパ (1944年～)



第3師団



第50師団



第7機甲師団

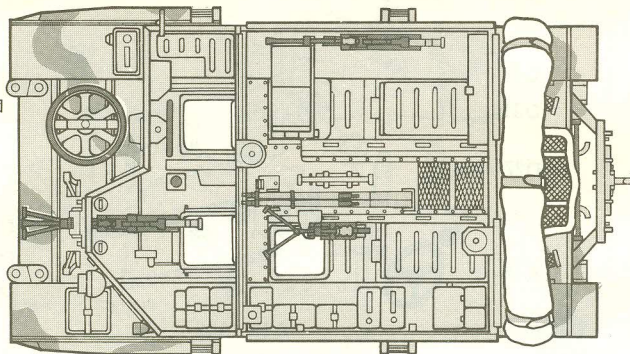


第27機甲旅団

ビルマ (1944年～)



第7機甲旅団



戦術サイン



機甲部隊



歩兵部隊



迫撃砲部隊



対戦車砲部隊

サービスサイン

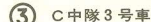


イギリス歩兵隊 (56のときはります)

スコードロンサイン



B中隊1号車



C中隊3号車

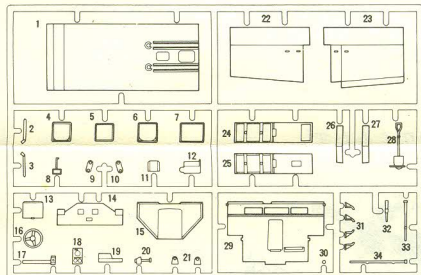


★キットを組立てる前に必ず説明文を読んで下さい。

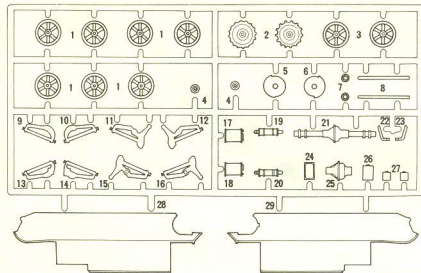
★ナイフ、ドライバー、ニッパー、ヤスリ等を用意しましょう。

★組立てに入る前に下の部品図を参考にして、部品を確かめて下さい。

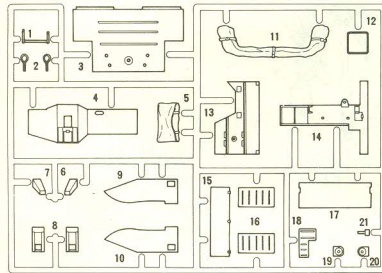
#### A 部品



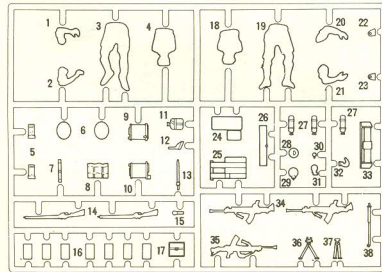
#### B 部品



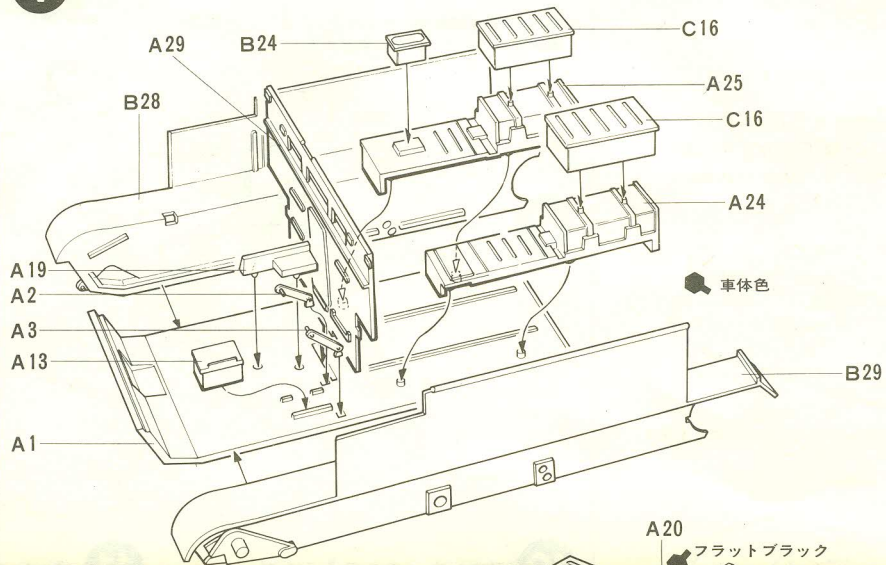
#### C 部品



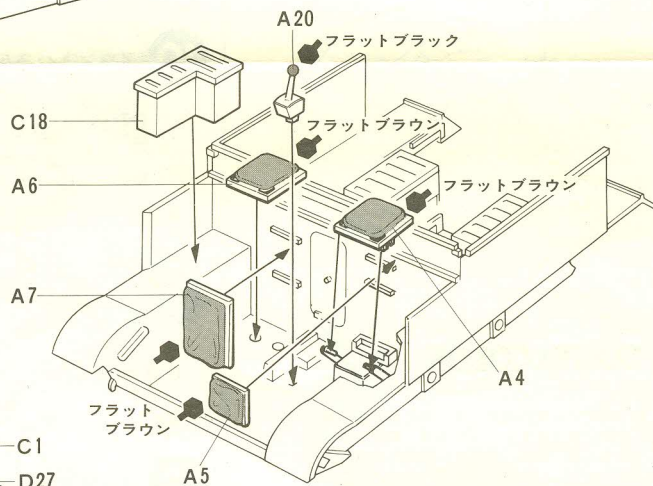
#### D 部品



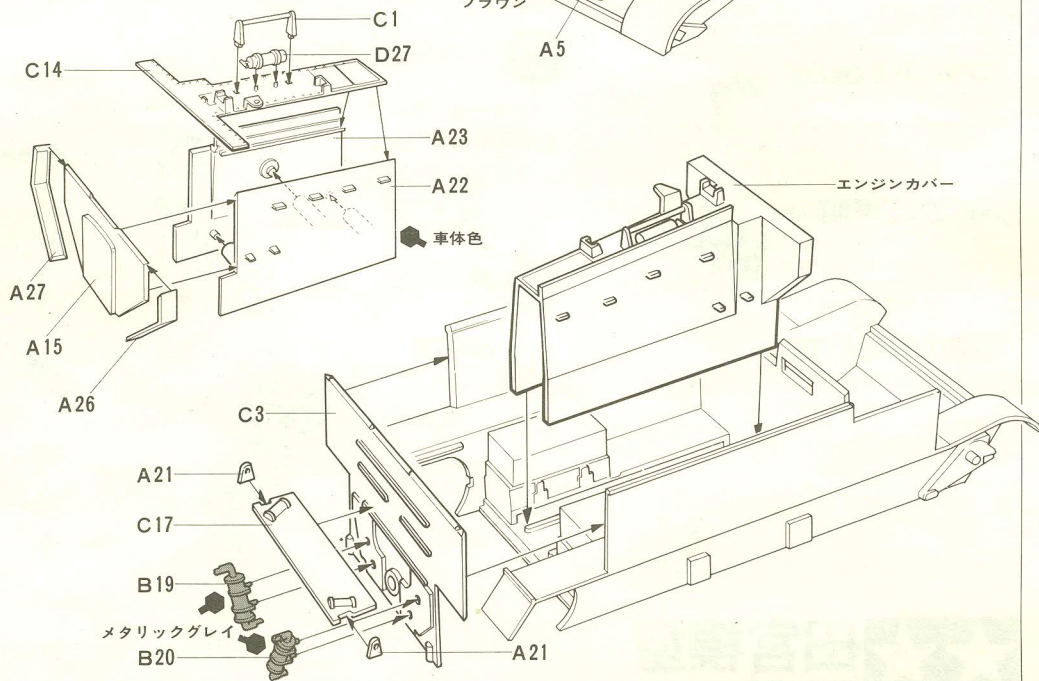
## 1 ボディのくみため



## 2 シートのとりつけ



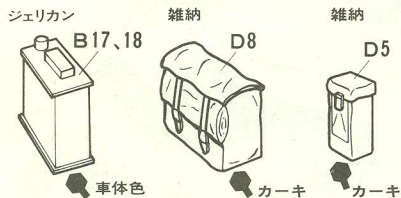
## 3 エンジンカバーのくみため





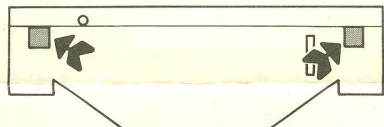
これは塗装指示のマークです。各部の塗装はタミヤカラーで指示してあります。

★下のパーツはアクセサリーパーツです。車輛の装備品や乗員の装備品は取扱いが楽なように色々な場所におかれました。運転席やエンジンカバーの横にあなたの考えで配列して下さい。



## 6 〈リヤパネルのくみため〉

リヤパネルにとりつけるフックは、6ポンド砲等のけん引用です。とりつけるときは裏側の案内にそって穴をあけて下さい。



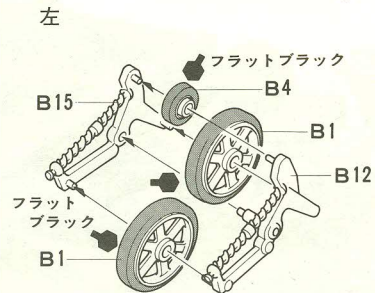
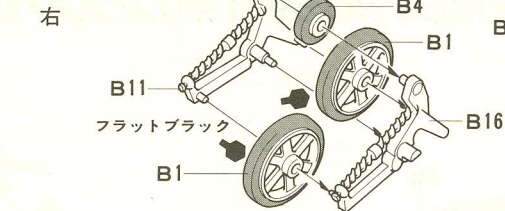
この部分に四角の穴をあけます。

## 7 〈キャタピラのとりつけ〉

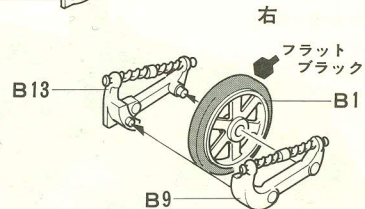
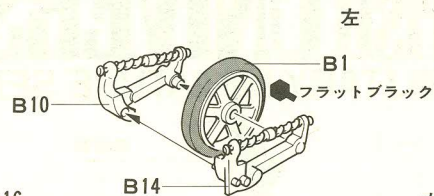
キャタピラは下図のようにして2本くみためして下さい。

## 4 サスペンションのくみため

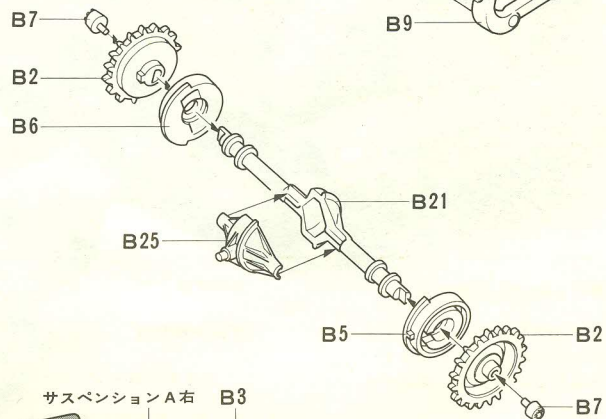
### 〈サスペンションA〉



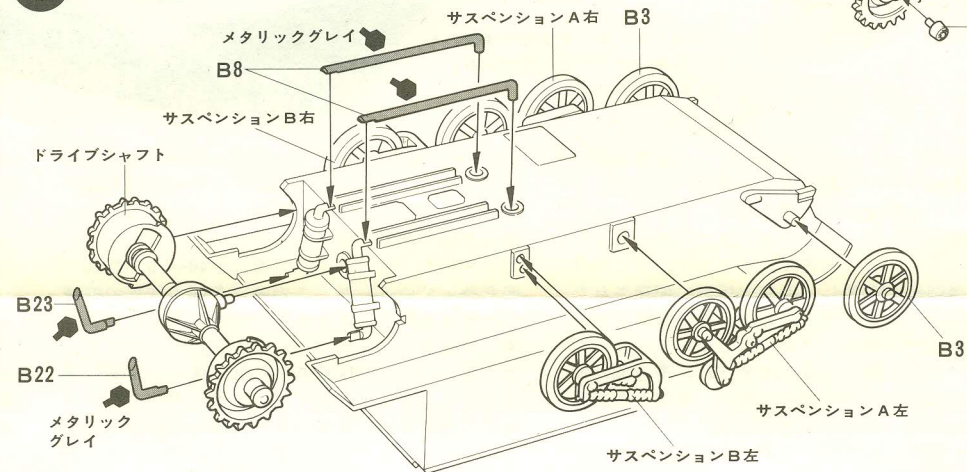
### 〈サスペンションB〉



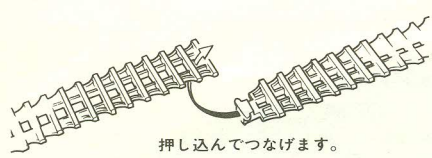
### 〈ドライブシャフト〉



## 5 サスペンションのとりつけ

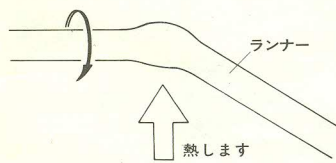






押し込んでつなげます。

### 《アンテナの作り方》



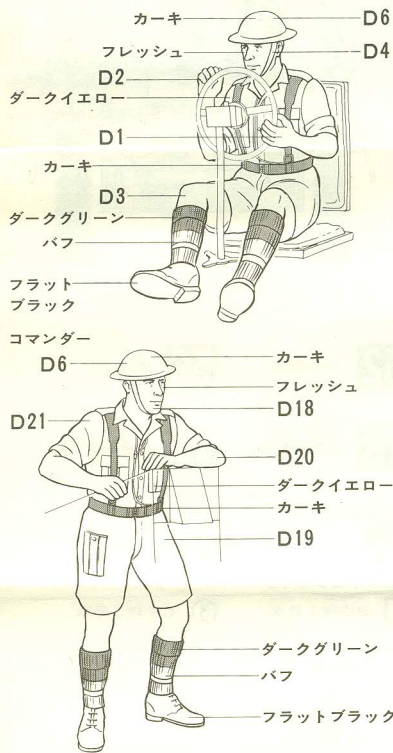
図のようにランナー(枝)の1部をやわらかくなるまで熱します。



両側を引っぱり細くのばし、動かさずに15秒ぐらい冷したら指定の長さに切り、とりつけます。

### 《人形のくみたと塗装》

ドライバー

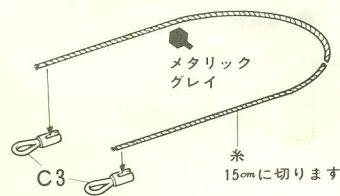


★人形は塗装してからとりつけます。

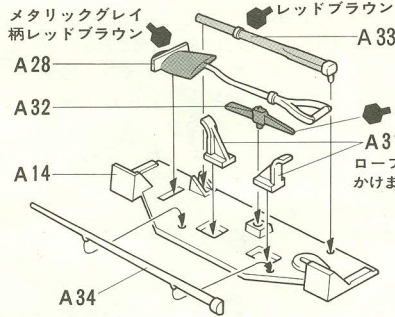
### 12 《ブレンガンのとりつけ》

ワイヤーロープは下図のように組立て、フロントパネルか、リヤパネルのフックにとりつけて下さい。

### 《ワイヤーロープのくみたと》

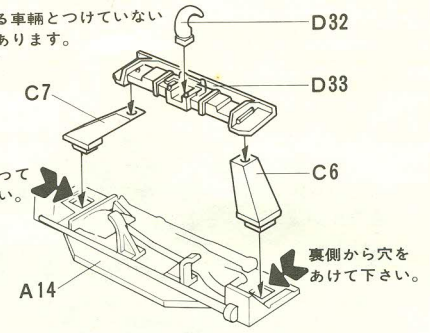


### 6 リヤパネルのくみたと

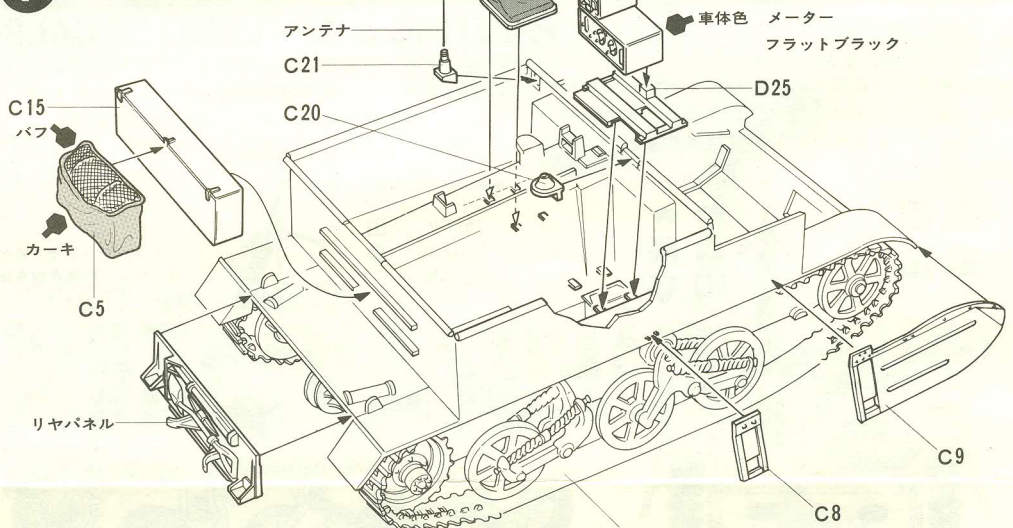


### 《フックのとりつけ》

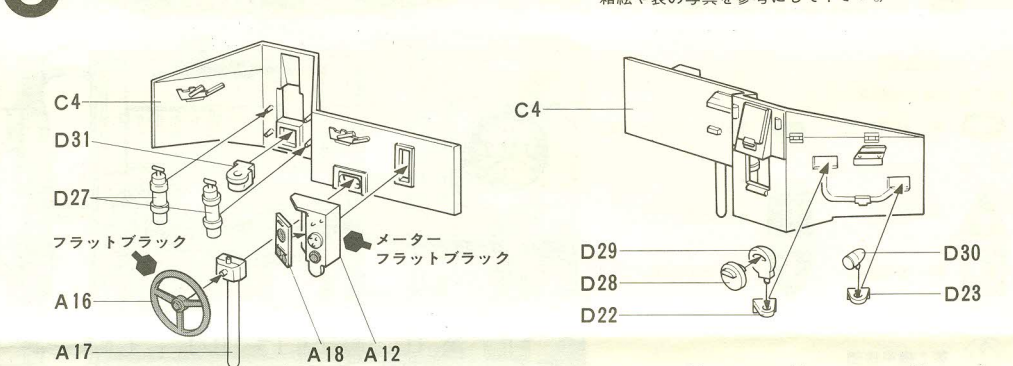
★つけている車輛とつけていない車輛とがあります。



### 7 キャタピラのとりつけ



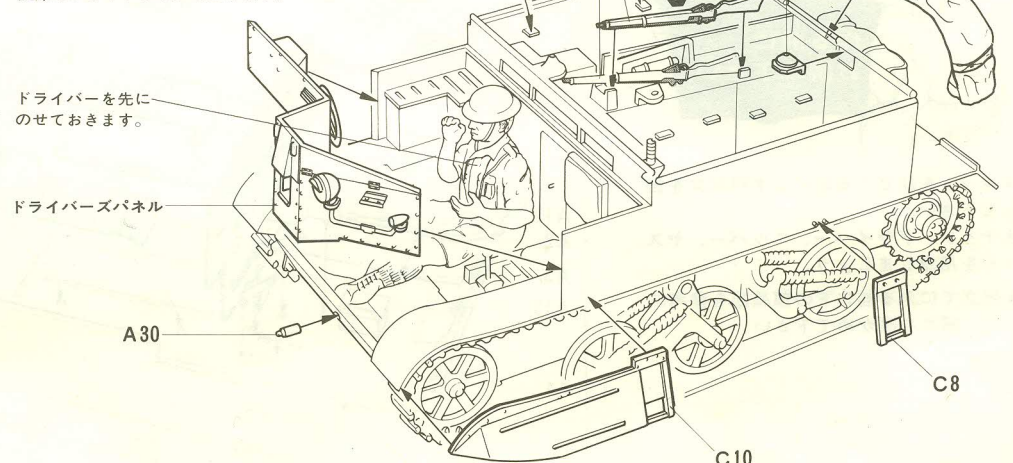
### 8 ドライバーズパネルのくみたと



キャタピラをはめます (向きに注意してはめます。箱絵や表の写真を参考にして下さい。)

### 9 ドライバーズパネルのとりつけ

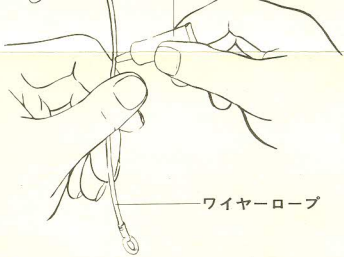
★D14、D13は銃身をメタリックグレイ銃床をレッドブラウンに塗ります。



ドライバーを先にのせておきます。

ドライバーズパネル





ワイヤーロープ

## TAMIYA COLOR

タミヤカラー(アクリル塗料)

塗りやすい水溶性塗料です。安全性が高く筆は水洗いもできます。木や金属、発泡スチロールなど広く使い、スプレー塗装もOK。



## TAMIYA COLOR

タミヤカラー(スプレー式)

美しい塗装が手軽に楽しめるスプレータイプの塗料です。ミリタリーモデル用、カーモデル用、一般工作用がそろっています。



## TAMIYA CEMENT 40ml

タミヤセメント(ピン入り)

プラスチックモデル用液体接着剤。安定性のいい使い易い四角いビン入り、容量もお徳用です。



## LIQUID THREAD LOCK

ネジ止め剤

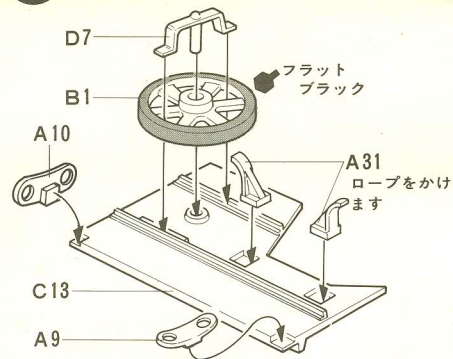
チューブ入りのネジ止め剤です。走行中の振動などにより、ビス、ナットなどがゆるんだり脱落するのを防ぐのにお使い下さい。



家庭用品品質表示法による接着剤品質表示  
 取扱い上の注意  
 1. 幼児の手の届かないところに保存し、いたずらをしない様注意して下さい。  
 2. 火気に注意し換気をよくして下さい。  
 3. 故意に吸わない様注意して下さい。  
 表示者 S.Z.3000 S.Z.3006 S.Z.5013

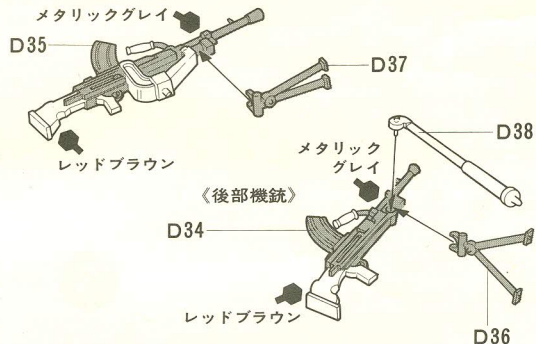
部品の取出した空袋は、幼児が被ったりして下さい。破

## 10 フロントパネルのくみため



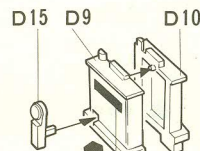
## 11 プレングンのくみため

《前部機銃》



## 12 プレングンのとりつけ

《ウォータータンク》



WATER

両面にマークをはります

